



気を抜くのは禁物！！ 新型コロナウイルス感染症

令和2年5月8日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第18週分・4月27日～5月3日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

第18週（～5/3）時点において、県内では複数のクラスターが発生し、累積感染者数は212例となり、前週時点（178例）に引き続き増加が続いています。感染源別に感染者数を見ると（図参照）、老健施設Rからの報告数は減少し、デイサービスMからの報告数が増加しました。感染源不明（市中感染が疑われる）の事例は17週に続いて、減少傾向となりました。一方、感染源が確認された事例の大半は家族内感染でした。家庭内では、症状がある場合、寝室、食事、トイレを分ける等、可能な限り接触をさげ、特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患等がある方への感染を防ぐよう努めましょう。

新型コロナウイルスの感染経路は飛沫・接触感染です。これまで、感染予防、感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染予防に加え、「3つの密」（①密閉、②密集、③密接）を避けて行動する対策を進めてきました。しかし、県内で患者が増加し続けている背景から、強制的に一人一人の感染経路を絶つことが必要です。全国的にも新規感染者数の減少は目標値に達しておらず、5月4日には、緊急事態宣言の31日までの延長が決定されました。県民一人一人が緊急事態宣言の趣旨に沿って、不要不急の外出を控えることが大切です。やむを得ず外出する際にはマスクを着用しましょう。

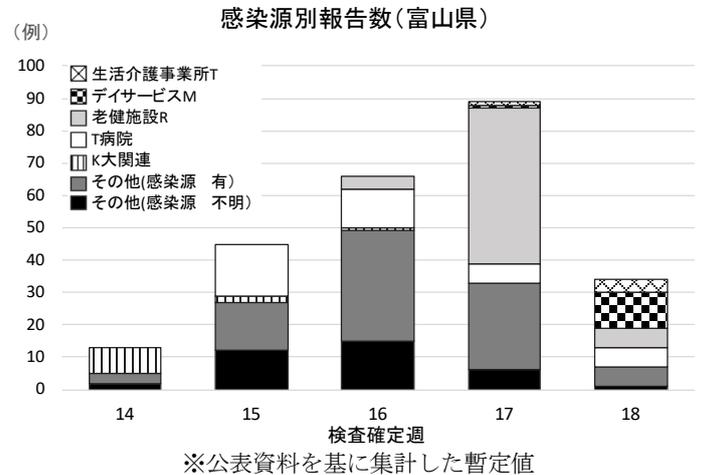
新型コロナウイルス感染症の初期症状は発熱、咽頭痛、咳など通常のかぜ症状と同様です。しかし、かぜと比較して、体のだるさが強く、その症状が長く続きます。また、しばしば肺炎を起こすのが特徴です。発熱等のかぜ症状がある方は自宅で療養・待機してください。症状が続く場合は帰国者・接触者相談センターに相談の上、指定された医療機関を受診しましょう。強いだるさ、息苦しさ、高熱（38.0℃以上）等があり肺炎が疑われる方、高齢者や基礎疾患等がある方は重症化することがあるため、早めにご相談ください。

《全数報告の感染症》

指定感染症 新型コロナウイルス感染症 34件
二類感染症 結核 1件（30歳代、女性）
四類感染症 レジオネラ症 1件（60歳代、男性、肺炎型）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	感染性胃腸炎	1.55（↓）	2.00
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10（→）	1.10
3位	咽頭結膜熱	0.55（↑）	0.48
4位	突発性発しん	0.45（↑）	0.38
5位	水痘	0.31（↑）	0.14
6位	マイコプラズマ肺炎	0.20（↓）	0.60



この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第18週 令和2年4月27日～令和2年5月3日）

分類	疾患	今週報告分（第18週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1	1	2		30	34	5	7	17	3	180	212	
二類感染症	結核			1			1	3	2	13	4	14	36	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									3		4	7	
四類感染症	E型肝炎							2					2	
	A型肝炎							7				1	8	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症				1		1	1		4	1	4	10	
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	2	7	
	急性脳炎							2				1	3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		3	5	
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7	
	梅毒							2		2		4	8	
	破傷風											1	1	
	百日咳											24	2	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	890	567	1,190	3,562
RSウイルス感染症								2	5	26	4	35	72	
咽頭結膜熱		4	2	6	1	3	16	47	53	81	7	70	258	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.67	0.75	0.25	0.30	0.55	77	157	957	144	1,218	2,553	
感染性胃腸炎		25	8	3	2	7	45	543	307	415	218	1,251	2,734	
水痘		6.25	2.67	0.38	0.50	0.70	1.55	28	29	42	16	83	198	
手足口病			2	5		2	9	18	1	13	4	39	75	
伝染性紅斑			0.67	0.63		0.20	0.31	9	25	26		154	214	
突発性発しん		2	1	5	1	4	13	11	11	69	24	39	154	
ヘルパンギーナ		0.50	0.33	0.63	0.25	0.40	0.45	26		8	1	1	36	
流行性耳下腺炎		2		1		1	4	26					36	
流行性角結膜炎		0.50		0.13		0.10	0.14							
無菌性髄膜炎			1				1		3	3	4	3	13	
マイコプラズマ肺炎			0.33				0.03		5	7	2		14	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						1	1					1	4	
インフルエンザによる入院患者（*）					1.00		0.20		1	3	12	15	9	40
										2	2			4
								42	5	28	73	53	201	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。